

絆きずな 15

平成28年12月8日 発行

発行責任者：吉竹一泰 文責：河南 崇志

毎週木曜日は「人権学習の日」です。自分の言動を振り返ったり、さまざまな人権問題について考えたりすることで、自分を磨いていく日にしましょう。

「中学生へのメッセージ」

Jリーガーとして有望視されていた京谷和幸(きょうや かずゆき)さんは、突然の事故によって下半身不随の身体になってしまう。しかし、リハビリを経て、車椅子バスケットの選手となり、3度にわたってパラリンピック出場を果たした。その京谷さんから中学生へのメッセージが以下の文章である。

中学生のみなさんには、高い目標や大きい夢をぜひ持ってほしいですね。そして行動を起こすこと。たとえ目標が明確でなくても、行動することで目標が見えてくるはずですよ。僕が車椅子生活になっても、パラリンピックという最高のレベルの大会に出場できたのは、常に夢や目標を持ち続けていたからです。

ときには挫折もあるでしょう。でもそれは、目標への階段を2段3段とばしで上がっていることが多い。そこであきらめずはダメ。もう一度階段を下りて挑戦する。そうすれば、また上がっていきけるはずですよ。

たとえ、目標が達成できなくても、チャレンジしていく中で、今までできなかったことができたり、自分が変わったことが実感できれば成功です。その気持ちが、きっと新しい目標につながる。それに目標や夢に大小はなく、人それぞれ。人に何といわれようと、かまわない。とにかく、前向きであってほしいです。

【感想より】

1年生

☆僕は部活動で、自分なりの目標を持っています。1回、僕は「目標は無理」だとあきらめていました。結構、落ちこんでいました。でも、ずっと落ちこんでいたただめだと思いました。今も、その目標を持っています。京谷さんが言っていたように、僕も前向きにがんばっていきたいです。そして目標に届くように日々、努力していきたいです。

☆夢や目標で挫折しても、もう1回やりなおして挑戦するのが、本当の夢や目標だと思います。私は部活の目標や将来の夢が決まっています。もし、その目標や夢で挫折しても、挑戦して、最後には達成できるようにがんばっていきたいな、と思いました。

☆高い目標、大きな夢を持って、チャレンジする。がんばるというのは、とても良いことだと改めて思いました。あきらめずに、その目標に向かってがんばると、できなくても自分を変えることができる。その気持ちが、新しい目標につながる。この文章を読んで、高い目標に向かってがんばったら、後悔は絶対にしないと思いました。

☆京谷和幸さんが言っていた「車椅子生活になっても、パラリンピックという最高のレベルの大会に出場できたのは、常に夢や目標を持ち続けていたからです。」という言葉聞いて、あきらめてはいけない、目標が達成できなかったとしてもどんどんチャレンジしていけば変わっていく。僕もあきらめずに、これからは前向きでいようと思いました。

2年生

☆まだ、僕は将来のことをはっきりと決めていません。しかし、勉強や部活動を熱心に取り組んでいると、自分のプラスになることが得られると思います。あせらずに自分のスピードで目標、夢を決めたいと思います。

☆突然の事故で、もうそこまで見えていた未来がいきなり閉ざされて、また1からスタートということになってしまったのに、京谷さんはとても前向きに新たな道を選択して夢や目標を叶えていくのが素晴らしいなあ、と思いました。私にも将来あまりはっきりと決めたわけではないけれど夢があります。その夢に向かっていく過程で何度も挫折をするときがあると思うけれど、そんなときこそ前向きになれる強い気持ちを持ちたいです。

☆部活を続けていて、うまくいかない日々が続いたとき、「もうやめたいな・・・」と思ったことがあります。でも、やめるとするのは、すごく簡単なことで、逆に続けるという方が難しいと思います。それは、うまくいかない日々が続いたときにやめたい、と思う気持ちの方が割合が大きくなるからだと思います。でも、その弱い気持ちの割合に勝ったときに、良いことがある、と思うので、それに向かって頑張りたいです。

☆私は今、あまり明確な大きい夢はありません。でも、小さな目標からでも行動していくことで、いつか大きな夢や目標が見つかるかもしれないと思いました。また、その目標へ向かっている時、たくさんの挫折があるかもしれないけれど、そこであきらめず、前向きにチャレンジしていけば、その目標が達成できなくても、自分が変わっていけるチャンスに変わることができるんだ、と感じました。

☆もし、私がケガをしたり事故にあってテニスができなくなってしまったら二度とスポーツをしたくないと思ってしまいます。でも京谷さんはバスケットをするどころかパラリンピックに出場されていて、とてもすごい努力家だなと思います。三度もパラリンピックに出られてすごいと思います。並の努力では、そんなことはできないと思います。私はテニスが好きだと思います、時々いやだな、早く返りたいなと思うこともありますが、部活のメンバーでテニスをするのは楽しいです。私は2年生全員で県大会に行けるようにがんばりたいと思います。

3年生

☆どんなことがあっても夢や目標を持つこと、京谷さんのような前向きな生き方になりたいです。挫折は、自分の行動を見直すチャンスとして前向きに考え、もう一度挑戦できるようにしたいです。

☆私にはまだ、しっかりとした大きい目標というものはありません。でも、人を助けられるような人になりたいという夢があります。私の人生にはこれからがスタートというところです。そして、これから生きていく中で必ず挫折もあります。でも、そこからあきらめるか、ふんばるかで変わっていきます。これからどんなことがあっても前向き強く生きていきたいと思います。

☆私は今年になるまで高校をどこにしようかなど、とくに考えていませんでした。しかし、4月になり先生に高校を勧めていただいたおかげで、今生きたい学校があります。私も今までにも見えていなかったところから、小さな目標がきっかけになって、目の前が大きく変わっていくことを実感しました。自分の持つ力の源は夢や希望であり、それを実現させていきたいと思います。

☆私は夢があり、それに向けてがんばろうと思っても、なかなか上手くできないことがありました。でも、この文にも書いてあるとおり、あきらめたらダメだと思います。自分の夢が何か分からない時もあるけど、生活していく中で見つけることができると思います。人それぞれだけど、夢に向けて頑張っていけたらいいなと思います。

☆私は挫折をしてしまったら、ひたすらに別の道を模索します。しかし、京谷さんの場合、高い目標を持ち、ひたすらにその道を進み、私とは反対の夢の持ち方なのだと思います。私も大きな夢に向かって頑張りたいです。

本来、人間は弱く、楽な方に流されることが多いように思います。ちょっとしたことで努力をやめて逃げ出したり、「これくらいいいや」と自分の目標を低くしたりします。しかし、強い意志を持ち、努力を続け、目標が達成できた時の喜びが人間を大きく成長させてくれるのです。

車椅子生活となった京谷さんは「もし神様が、もう一度歩けるようにしてあげようとしても、僕は断ります。」と言っています。

(裏面へつづく)

